

# 合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 現代社会学部社会システム 学科

出身高校名 大谷高等学校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

同志社女子大学は、私が夢を叶えるために必要なことを全て学べる大学だと考えたからです。私の夢は世界中の観光客の方をおもてなしすることです。この夢を叶えるために、世界の様々な文化や観光、心理、経営に関する知識や語学力が必要だと考えました。同志社女子大学の現代社会学部社会システム学科では5つのコースから自由に学ぶことができ、さらにCASEプログラムを通して語学力を身につけることもできます。欲張りな私にとって同志社女子大学での学びはとて魅力的なものだったので、同志社女子大学を志望校に決めました。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

どうしても同志社女子大学で学びたかったからです。この思いが強かったため、チャンスがあるなら逃げたくないと思っていました。AO方式入学者選抜の特徴である、学びたいという気持ちを直接伝えることができるという点と、これまで頑張ってきた活動について評価してもらえるという点に魅力を感じ、私にぴったりの入試方式であると考え、AO方式入学者選抜での受験を決めました。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は主に文化活動をアピールしました。最も強くアピールしたのは茶道での活動です。持っているお免状のことと、小学生の頃から参加している子ども茶会で高校生になってから自分がしたこととその行動に対して意識したこと、感じたことをアピールしました。他にも小学生の頃から習っている書道や高校の部活動でやっていた華道のことをアピールしました。また、高校1年生の時に取得したニュース時事能力検定のことについても受けようと思った理由などを面接で少しお話ししました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

早いうちから文章を書いて、学校の先生に何度も何度も添削していただきました。同志社女子大学のAO方式入学者選抜は3つの書類を作成する必要があったので、私は6月の中頃から準備を始めました。よりよい文章にするために複数の先生方に添削をお願いし、出願のギリギリまで時間をかけて作成しました。添削していただく時に先生とたくさん話したことで、自分が本当に伝えたいことを伝えられるような文章になったのではないかと思います。

〔面接〕

学校の先生にお願いして、1次の合格がわかってからはほぼ毎日面接練習をしていただきました。同志社女子大学の面接は30分あるので、毎回30分計って練習していただきました。私は話すことが苦手なので、とにかくたくさん練習しました。練習で聞かれたことはノートにまとめて、自分の答えをしっかりと考えました。ノートには質問とそれに対する答えをまとめていましたが、スピーチにならねばならないように一問一答のようなまとめ方を意識しました。練習も準備もたくさんしましたが、本番では同志社女子大学で学びたいという気持ちを強くアピールしました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

書類が多く大変なAO入試ですが、自分自身と向き合うとても良い機会になりました。準備に時間もかかるし、不安になることもあると思いますが、周りには支えてくれる人がたくさんいます。入学前に先輩やAO入試で合格した仲間と交流できる機会もあって新しい生活への不安も解消されるので、私はAO入試で頑張れば良かったと思っています。支えてくれる人への感謝と、同志社女子大学で学びたいという気持ちを強く持って頑張ってください！応援しています!!